

令和3年度 ニシン漁獲物調査速報(10)：厚田地区

1~3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

4月4日(終漁日)に石狩湾漁協厚田地区に水揚げされたニシンの漁獲物調査を5日に実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。漁獲物調査速報はこれが最終です。

【結果】

1. 漁獲状況

4月4日の厚田地区では、「メス」、「オス」の2銘柄が水揚げされていました。

2. 銘柄「メス」の結果：卵巣完熟率は100%

銘柄「メス」の標本71尾すべての卵巣は、状態の良い完熟状態でした。平均卵巣重量(最小~最大)は、83.3g(29.5~114.1g)でした。尾叉長は31cm台(図1)、体重330~379g台の個体が最も多くなっていました。内臓除去体重に対する卵巣重量の割合(GSI)の平均(最小~最大)は、33.0(15.1~43.9)でした(図2)。産卵中の個体と、これから産卵する個体が混じっている状態と思われます。

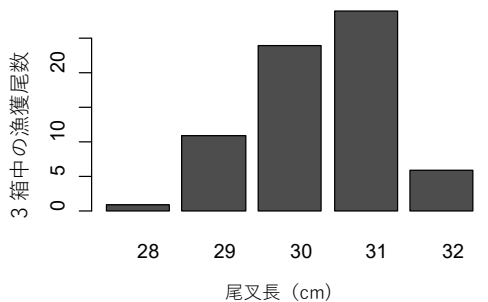


図1 銘柄「メス」の尾叉長組成

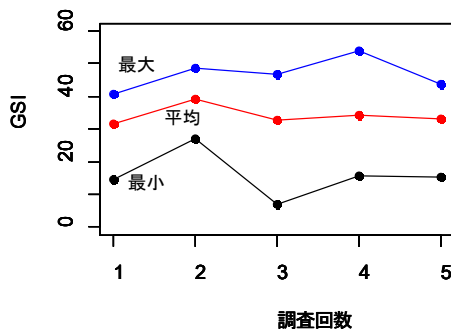


図2 メスのGSIの推移

3. 銘柄「オス」の結果

銘柄「オス」の標本64尾のうち3尾は未熟もしくは産卵中のメスでしたが、残りは放精前もしくは放精中のオスでした。尾叉長は30cm台、体重280~329g台が中心でした。

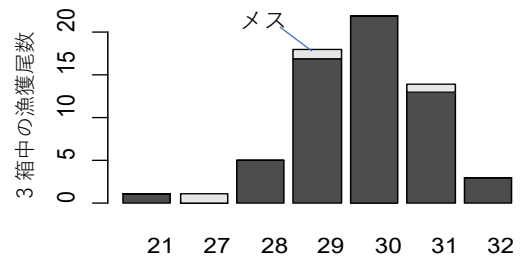


図3 銘柄「オス」の尾叉長組成

4. 年齢組成について(4月26日追記)

銘柄「メス」は、5歳(6年魚、2016年級)が46%と最も多く、4歳(5年魚、2017年級)が次いで多かった。6歳以上(7年魚以上)も17%含まれ、4歳以上で全体の94%を占めていた。銘柄「オス」も、5歳魚が最も多く、次いで4歳魚が多く、4歳以上で全体の88%を占めていた。

これまでの例では、漁期終盤には若齢小型魚中心の来遊となり、高齢大型魚の割合は低くなっていたが、今年度については漁期最終日でも高齢魚が漁獲物の大半を占めていた。

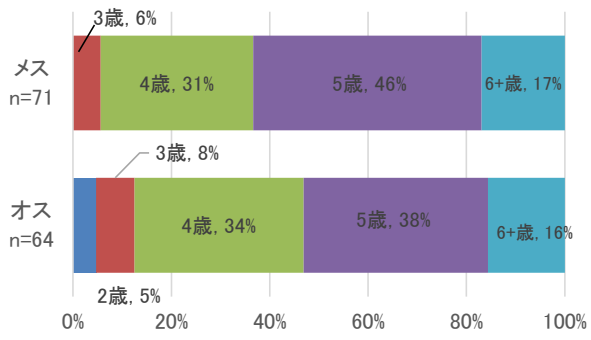


図 4 銘柄ごとの年齢組成